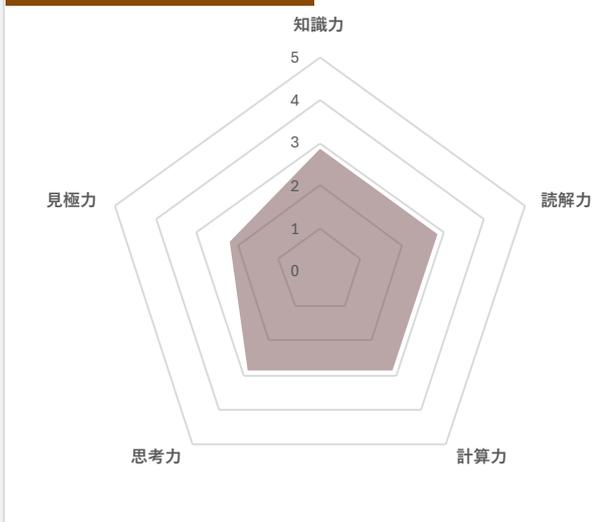


総合分析

試験区分	一般（後期）
------	--------

制限時間	45分（理科2科90分）	大問数	全3問
------	--------------	-----	-----

合格に要する能力（5段階）

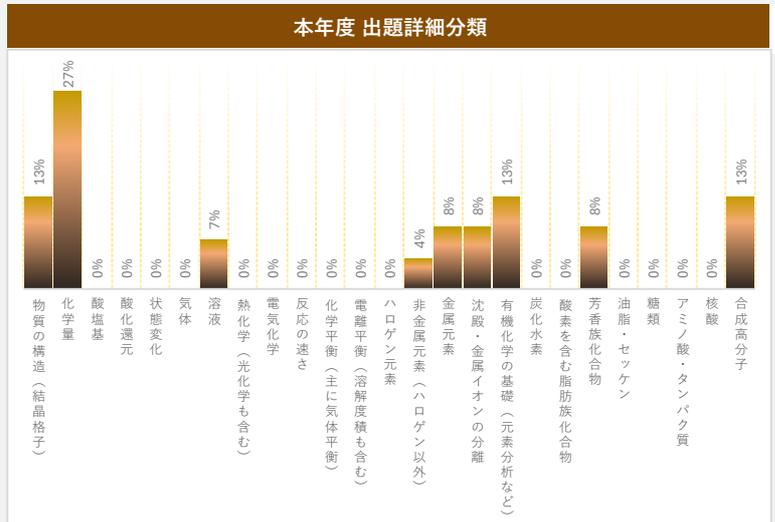


合格に要する能力（5段階）		
知識力	2.7	物質，反応，解法の知識
読解力	2.7	問題文から必要な情報を抽出できるか
計算力	2.7	手際よく正確に計算できるか
思考力	2.7	基礎知識や問題文から推測する力
見極力	2.0	解きやすい問題を選択する力

出題分野	
理論	46%
無機	21%
有機	33%

本年度出題テーマ一覧	
第1問	小問集合
第2問	気体反応の量的関係
第3問	芳香族化，ピニロン，立体異性体

本年度 解答形式
選択肢 100%



特殊問題の有無	数値計算あり	グラフあり	正誤問題あり	理由記述なし	図表なし
---------	--------	-------	--------	--------	------

特記事項	特になし
------	------

総合評価

難度	2.6	最難を5とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率（予想）	78%
分量	40分	完答に要する時間（制限時間は45分）	標準	高い正答率を要する	

入試の特徴と対策	強い特徴や偏りが無いバランスがとれた入試である。特別な対策は必要とせず標準的な高校化学の学習でよい。
----------	--

入試から見る大学が求める学生像	全範囲にわたって基礎学力をもち、かつ短時間で問題文を読んで完答する処理能力を持つ生徒。
-----------------	---